

<http://www.shika-implant.org/>

インプラント  
ニュース  
◆  
創刊第1号

平成15年10月20日発行

# Implant News No.1

日本口腔インプラント学会会報

発行人 川添 堯彬

編集 日本口腔インプラント学会広報委員会

事務局 〒170-0003 東京都豊島区駒込1-43-9 駒込TSビル301 (財)口腔保健協会内

TEL. 03-3947-8891 FAX. 03-3947-8341

Eメールアドレス: [kohojsoi@yahoo.co.jp](mailto:kohojsoi@yahoo.co.jp)

## 本学会は変革進化を果たします



川添堯彬 日本口腔  
インプラント学会長

会員の皆さん、ようこそ Implant News へお越しいただきました。

21世紀ITブロードバンド時代に鑑み、本学会の学術情報、学会情報、会員情報などをできるだけ迅速、詳細に会員皆様へお届けしたい趣旨から、本学会の情報メディアに機関誌、ホームページ(HP)、Eメール(ml)とともに、新たにニュースレター(Implant News)を発行することになりました。このために広報委員会(山内六男委員長)を新設して本号からの活動スタートになります。会員皆様からもどしどしご意見を寄せていただき、双方向の親しみやすい学会メディアとして、このImplant Newsを育ててほしいと願っています。

いま、世界の保健医学・医療界は大きく変化し

つつあり、歯科医療界は不運な逆風のなかに置かれています。しかし歯科領域でのインプラント学はまだこれから先進展開の大きな進歩をとげる可能性を秘めており、インプラント治療には国民社会からの熱い期待が込められています。

そこでこの時に、本学会は何を目標とし、どのような方策で、どこまで実行・実現を果たそうとしているのでしょうか。すでに、日口腔インプラント誌16(2)の巻頭言にこれからの目標となる事業計画・活動方針を発表してありますが、要点は以下の5本柱になります：

1. 学会の基盤強化，確立
2. 口腔インプラント学・インプラント治療のアカデミックな発展，振興
3. 歯科医療体系への口腔インプラント治療の導入，確立
4. 新認定医制度の円滑運営と専門医制度へのゴールイン
5. 国民社会への責務履行，貢献

わたしたち役員一同は，“国民社会から期待され信頼される口腔インプラント学・医療を研鑽する学会にしよう”を目指して、本学会の運営に全力で取り組んで参ります。

なにとぞ会員皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

## 副会長ご挨拶



齋藤 毅 副会長

新しい会期を迎えて、進歩発展の著しい口腔インプラント学会の確立のため新しい抱負を掲げ邁進する川添堯彬会長から、会務を補するようにとの要請をうけて副会長を拝命いたしました。

20世紀は科学技術の進歩の時代であり、歯科医療の分野においても新しい診断・治療機器材料の開発、再生医学の進歩、さらには遺伝子レベルの解析からナノテクノロジーの研究まで進展しております。これらの進歩を受けて21世紀は、これらの科学技術の進歩をいかに社会に還元し、国民に高いQOLを提供するかが問われております。

この意味で口腔インプラントは、歯科医療における先頭を走る国民の期待を受けた医療技術であります。川添会長は、新しい目標を会誌（16巻）の巻頭言に掲げておられるように、本学会の基盤強化を図り、研究の活性化、研究成果の医療への展開、認定医制度の確立、あるいはグローバルな時代における情報の国際化などを通じ、歯科医学・医療における口腔インプラントの認識を高め、国民への責務を果たしたいと述べられております。

すでに学術大会、支部活動、各種委員会活動などに極めの細かい運営にあたられる川添会長の手足となって、山上哲賢副会長とともに会務に励みますことを申し上げ、会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。



山上哲賢 副会長

今回、川添堯彬会長の元で浅学菲才の私に副会長をということで恐縮致しております。

鈴木和夫前会長の時は田中重喜副会長の後、ピンチヒッターとして微力ながら学会改革のお手伝いをさせていただきました。前期は副会長5名でしたが、今期は齋藤毅先生と私の2名になり、責任重大になりました。齋藤毅副会長には日本歯科医学会専門分科会加入、私には法人化の課題が与えられており、ぜひ実現させたく思っております。その他、川添会長が目標とされている多くのテーマの実現化に向けて全力投球したく思っております。

本学会の発足時（1972年～）から学会員となり、種々見てまいりました。なかでも歴代会長の学会に対する情熱は素晴らしいものがあり、現在、5,000名を越す会員数になったのも先輩諸先生のおかげと感謝致しております。現在、西欧の考えがスタンダードとなり、その崇拜者が多く居りますが、これからは日本がインプラントの情報を発信する基地となる様、若い先生方に期待しております。

私の尊敬する京セラ稲盛和夫名誉会長が常々言われている「動機善なりや私心なかりしか」を常に自分に問いかけながら利他の利をめざし、真の「患者の幸せ」のために臨、学、産、患者と一緒に研究することが大切であると思っております。

最後に会員皆様のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

## 各種委員会紹介



庶務委員会委員長  
山内六男

庶務委員会は、平成13年度の機構改革で総務委員会が庶務委員会と財務委員会に分離されてきた委員会です。主な業務は、会務が円滑に運営されるために各種委員会からの要望を取り上げ各会議に上程していくことや各会議の運営を行うことにあります。そのため、事前に各会議の内容を協議し、次第を作成すること、今期執行部の重要課題の一つである各会議の議事録作成も行っています。また、学会に寄せられる様々なご意見やご質問などにも、対応していきます。

今年度は、3年に一度の日本歯科医学会専門分科会への加入申請の時期でしたので、庶務委員会で申請書原案作成を行い、9月に申請書を提出いたしました。

今後とも、会務運営へ全力を注ぎ、微力ながら学会発展に貢献したいと考えています。



財務委員会委員長  
山根 進

財務委員会は現執行部より新たに設置された常置委員会であり、予算表と決算報告書の作成および学会の財産管理を主な仕事とする委員会です。15年度予算において、全会員が即座に理

解できることを念頭におき、項目の明確化をはかりました。また、認定医制度が確立運営されてきましたので、収入は認定医制度運営事業収入、支出は認定医制度運営事業費にまとめ、瞬時に認定医制度に関する収支決算が理解できるようにしました。以上は名古屋での15年度総会で認めてもらいました。現執行部では本学会の法人化に取り組んでおり、法人の予算に対する考え方、例えば予算編成や繰越金等について今後検討していきます。決算についても、事務局に毎月月次決算書を作成させて、予算の執行を確認、予算オーバーにならないように学会の財産を管理していきます。



編集委員会委員長  
諏訪文彦

学会の顔ともいわれます学会誌の編集を、工藤前委員長から引き継ぐこととなり、編集委員の先生方とともに責任の重さを感じています。したがって、編集の任に精励恪勤の所存であります。

前委員会からの引継ぎ諸事項に、査読の効率化、査読結果の判定方法の改善などがありました。そこで、編集委員会の最初の仕事として、編集委員以外の査読を提案し、名古屋での第33回学会総会で承認を頂きましたので、ご報告させていただきます。

投稿規程も、本学会の機構改革に伴い改正をしたいと思っています。投稿原稿の査読を行って思ったことですが、投稿規程に沿わない記述が多くみられますので、投稿前にもう一度、ご確認をお願いいたします。

前委員会以上に、会員に興味をもたれ、質の高い雑誌で、掲載論文数が一定に維持されるように努めたく、皆様のご支援とご協力をお願いいたします。



学術委員会委員長  
前田芳信

川添会長から、本委員会のインプラント学会がより学術的にも充実したものとするために果たす役割が大きいことを肝に銘ずるようにと厳命を受けております。その中で、与えられた今後の課題としては「学会の顔である本部学術大会を通じて、学会のポリシーが会員あるいは国民に正しく伝わるようにする」ことであり「国際的にも評価される学会とする」ことであると考えております。

具体的には

- 学術大会開催における担当支部（大会長）と学術委員会の連携化
- 第34回本部総会学術大会の開催準備（近畿・北陸支部主管）
- 第35回本部総会学術大会の開催準備（東北・北海道支部主管）
- 学術研修会、公開市民講座の開催
- プログラム・タイトルの英文併記、英語ポスターの受け付け

などが挙げられます。現在すでに作業は進んでおり、その経過を可能な限り公表してゆきたいと考えています。会員の先生方のご協力を得て、なんとか各課題をクリアーしていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。



教育委員会委員長  
伊東隆利

私がインプラント学会に入会したのが、昭和50年、これまでの長い間には本学会の悪い面をみたり、嫌気がさしたこともありましたが、先日行われた総会では、全くそんなことを感じさせない「新生日本口腔インプラント学会」の姿があったように思います。川添会長の新しいビジョンを支援して参りたいと思っています。

10年、20年経過したインプラントをみるにつけ、国民の歯科医療に対するニーズが、インプラントに集約していくことが考えられます。某大学補綴学教授が、6番欠損の第一選択はインプラントです、とおっしゃる時代です。インプラントが広く、歯科界に取り入れられて、歯科界が元気づくことにつながるものと信じています。

それを支える大事なことは、インプラント臨床医の育成で、その根幹をなすのが、カリキュラムであり、ガイドラインであると思います。幸い、前執行部が残したカリキュラム案がありますので、これを土台に具体化して参ります。会員皆様の意見をお待ちしております。



用語委員会委員長  
鴨井久一

口腔インプラント用語集（初版）が齊藤毅委員長をはじめ用語委員会先生方のご努力で上梓されました。

その結果を受けて、今後、既存用語の取り扱い、補充用語などを追加補填などが必要となります。区分なども合理的に行われていますが、時代の流れで範囲をさらに厳密に規制するか検討したいと思っております。いずれにしろ、インプラント用語は学際的に広範囲のなかからの抽出、選択するために用語の統一性に前任者の御苦労がうかがえます。今後この用語を活かして、辞典とはいきませんが事典程度の簡単な解説も必要かと思われま



渉外委員会委員長  
石川 烈

川添会長の下で名古屋にて行われた日本口腔インプラント学会は、1,700名を越える参加者で成功裏に終了しました。本学会が益々社会的に認知され、インプラントの有効性・安全性が認められるためには、国際的な基準に基づいた方法・術式で行われ、その予後成績を算出し、国際的な比較の中で研究や治療の良否が判定される必要があります。渉外委員会としては、今後日本口腔インプラント学会と米国や欧州、アジアのインプラント学会と提携を深め、交流を密にして情報の交換を迅速に行う事が大切だと認識しています。日本で始まったWCOIも来年3月にハワイで開催されますが (<http://www.wcoi6.com/>)、日本口腔インプラント学会の会員も多数参加して、インプラントの現在の問題点を洗い出してそのコンセンサスを作り上げるというレモン会長の試みを楽しみ学んで頂ければと思っています。



認定委員会委員長  
添島義和

今期の活動目標として、認定制度の規定の整備と運用の充実をあげています。整備面では規定、細則 内規、申し合わせの整合性を検討します。

運用面では認定医試験、認定医ケースプレゼンテーション、認定医申請用教育講座の実施を円滑に行うことです。

総会時の研修施設長会議では併用型の申請用教育講座に関心が集まりました。平成16年度は東京と大阪で開催を予定しております。

認定医制度が施行されて10年になりますがその間各研修施設のご努力でインプラント治療は著しく向上し、会員の増加にもつながり今後も各研修施設が情報交換の場になることが学会の発展になると考えます。

川添会長の付託事項として専門医制度の検討があります。そのため委員会ではインプラント専門医の資格基準のコンセンサスを検討し提案する予定です。

整備および運用は、それぞれが重要であり学会の根幹をなすものです。全員で頑張りますので皆様の御支援よろしくお願いいたします



会則委員会委員長  
湯浅保宏

このたび川添堯彬会長のもと会則委員会委員長を拝命され、責任の重さを痛感しています。

本学会も会員5,000数百名を有し、歯科関連学会の第3位に成長した一大学会であります。学会運営も名会員の意見を集約し、多様化する諸問題を解決していき、また、全員の社会的地位の向上を目標とした運営がわれわれ執行部の責務と自負しています。

国の方針も専門医制の導入が決定し実施される見通しであり、この意味においても念願の歯科医学会専門分科会加入の実現は歴代会長はじめ会員の重要課題であります。また、本学会も法人化に向けて進行しています。この重要課題に対し、本委員会では会則の整合性の検討、現行規程・細則・内規・申し合わせ事項の整合性の検討、法人格の種類に対応した新会則の具体案提出、会則集の編纂・上梓など、の活動計画を実行してまいります。



倫理(医療検討)委員会  
委員長

瀬戸暁一

倫理(医療検討)委員会に対して、会長より1) 倫理規定の作成、整備、2) インプラント治療に関する評価基準の作成、という二つの課題を頂戴しました。いずれも根幹にかかわる重量級の宿題でしたが、侵襲性の高い医療分野に責任をもつ本学会としては当然整備しなければならない要件であります。しかし倫理問題は多岐にわたる背景がありますので、それほど容易なことではありません。そこでまず、会長の要請に基づいて未承認材料などにかかわる医療倫理的を絞って基本姿勢を打ち出したいと考えています。

インプラントの治療成績に関する評価基準の作成も難航が予想されますが、そろそろ日本の見解を示さなければならない時期にきていますので早急に、しかし慎重に取り組む所存です。



表彰委員会委員長  
梅原正年

この度川添堯彬会長より表彰委員長の任を拝命いたしました。

年齢的にも任期半ばにして70歳に到達しますので、この期を最後と奮闘努力する覚悟でいますのでよろしくご協力の程お願いいたします。

表彰委員の任務は、① 日本口腔インプラント学会名誉会員、日本口腔インプラント学会特別会員推薦者の事前調査、② 学会功労賞の選定推薦、

③ 学会特別賞の選定推薦、④ 優秀論文賞の選定推薦ならびにその規程の改正原案の作成等を目的とすることに現在なっています。

しかし、時代の新しい波はより合理性とその実践を要求し、学会誌のほか学術大会時の学会発表の意義、質をも問われるようになって参りました。私達表彰委員会は今までの①～④の問題を整理し、更に優秀な学会発表に対する表彰等も考えていきたいと思えます。

数多くの表彰をより正確に正しく評価するためには我々表彰委員会メンバーのみでは、時間的にも人員的にも負担が大きく、多の委員会または会員諸先生方に協力を依頼せざるを得ないとも考えられます。是非協力をお願いするものです。

なお、川添会長時代に日本口腔インプラント学会が高度の先進医療を取り入れ歯科科学界のより近代的アカデミックな学会に成長できればと願うもので、会員諸氏のご意見ご指導を切にお願い致します。

広報委員会委員長  
山内六男

広報委員会は、平成15年度の事業計画の一つとして本年度総会において認められ、既存の11常置委員会に追加された委員会です。本委員会の目的は、ニュースレター、ホームページ等を通じて会員の先生方に本学会の情報を素早く、かつ正確に発信することにあります。そのため、7月より活動を開始し、今回皆様のお手元にニュースレター創刊号をお届けすることができました。ただし、かなりスケジュールを詰めて作業を行いましたので、まだまだ完成したものではなく、今後皆様のご意見により充実したものにしてきたいと考えていますので、広報委員会メールアドレス(kohojsoi@yahoo.co.jp)までご意見をお寄せください。

また、ホームページについても、指導医・認定医の連絡先を掲載し、一般の方が先生方に連絡を取りやすい状況を作りたいと考えています。その他、コンテンツの追加、英語ホームページの充実などにより会員の先生方に見て頂けるホームページにしていきたいと思っています。

## 役 員 紹 介

以下の先生方が平成15年4月1日から平成18年3月31日の役員ですのでご紹介いたします。

なお、( )内は所属を示しています。

**会長** 川添堯彬 (大阪歯科大学有歯補綴咬合学講座)

**副会長** (2名)

齋藤 毅 (日本大学歯学部総合歯学研究所)

山上哲賢 (京都インプラント研究所)

**常任理事** (11名)

山内六男 (朝日大学歯科臨床研究所附属歯科診療所)

山根 進 (日本歯科先端技術研究所)

諏訪文彦 (大阪歯科大学解剖学講座)

前田芳信 (大阪大学歯学部附属病院口腔総合診療部)

伊東隆利 (九州インプラント研究会)

鴨井久一 (日本歯科大学歯学部歯周病学講座)

石川 烈 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科生体支持組織学系専攻生体硬組織再生学講座歯周病学分野)

添島義和 (九州インプラント研究会)

湯浅保宏 (北海道形成歯科研究会)

瀬戸暁一 (鶴見大学歯学部口腔外科学第1講座)

梅原正年 (青森インプラント研究会)

**理事** (会長・副会長を含めて40名)

梅原正年 (東北・北海道支部長)

岸 正孝 (関東・甲信越支部長)

蒔田真人 (中部支部長)

前田芳信 (近畿・北陸支部長)

長畠駿一郎 (中国・四国支部長)

添島義和 (九州支部長)

松沢耕介 (北海道形成歯科研究会)

工藤啓吾 (盛岡中央病院歯科口腔外科)

三嶋 顕 (北日本口腔インプラント研究会)

腰原 好 (東京歯科大学)

白川正順 (日本歯科大学大学院歯学研究科歯科臨床系(口腔外科学1))

鈴木和夫 (松本歯科大学)

佐藤甫幸 (日本インプラント臨床研究会)

宮坂 伸 (関東・甲信越支部)

渡邊文彦 (日本歯科大学新潟歯学部先端研究センター)

相浦洲吉 (日本インプラント臨床研究会)

星野清興 (ユニバーサルインプラント研究所)

根岸邦雄 (埼玉インプラント研究会)

栗田賢一 (愛知学院大学歯学部口腔外科学第1講座)

田川 清 (口腔インプラント生涯研修センター)

堀田康記 (愛知インプラントセンター)

江藤隆徳 (大阪歯科大学附属病院口腔インプラント科)

佐藤文夫 (大阪口腔インプラント研究会)

西村敏治 (大阪口腔インプラント研究会)

村上広樹 (日本歯科先端技術研究所)

岸 克好 (日本歯科先端技術研究所)

阿部成善 (九州インプラント研究会)

古谷野 潔 (九州大学大学院歯学研究院口腔機能修復学講座咀嚼機能再建学分野)

長岡英一 (鹿児島大学大学院医歯学総合研究科口腔顎顔面補綴学分野)

川添堯彬, 齋藤 毅, 山上哲賢, 山内六男, 山根 進, 伊東隆利, 石川 烈, 鴨井久一, 湯浅保宏, 瀬戸暁一 (前記)

**監事** (2名)

榎本紘昭 (新潟再生歯学研究会)

覚道健治 (大阪歯科大学口腔外科学第2講座)

**幹事** (2名)

高橋俊之 (東京歯科大学歯科補綴学第2講座)

高嶋秀隆 (愛知インプラントセンター)

# 日本口腔インプラント学会各種委員会名簿

(平成15年4月1日～平成18年3月31日)

委員会名	委員長	副委員長	委員
庶務	山内六男	星野清興	斎藤 毅, 添島義和, 山上哲賢, 湯浅保宏
財務	山根 進	西村敏治	江原雄二, 腰原 好, 小嶋榮一, 杉村俊之, 村上広樹, 吉村治範
編集	諏訪文彦	赤川安正	石上友彦, 井上 孝, 松浦正朗, 又賀 泉, 山田 了, 代居 敬,
学術	前田芳信	古谷野 潔	新井 高, 井汲憲治, 大塚 隆, 萩原芳幸, 松井孝道, 山田真一
教育	伊東隆利	川和忠治	江藤隆徳, 尾関雅彦, 賀来 亨, 塩田 真, 杉村忠敬, 横田 誠
用語	鴨井久一	蒔田真人	涌本 昇, 岸 克好, 白川正順, 長岡英一, 深井真樹
渉外	石川 烈	渡邊文彦	大村 桂, 栗田賢一, 阪本貴司, 永原國央, 宮崎 隆, 森本啓三
認定	添島義和	松沢耕介	市川哲雄, 奥寺 元, 高森 等, 畑 好昭, 堀田康記
会則	湯浅保宏	相浦洲吉	扇内秀樹, 西郷慶悦, 末瀬一彦, 田川 清, 藤野 茂, 森永 太
倫理 (医療検討)	瀬戸皖一	阿部成善	神田 充, 岸 正孝, 福西啓八, 古澤利武, 三嶋 顕, 宮坂 伸
表彰	梅原正年	佐藤文夫	工藤啓吾, 坂口喜史夫, 鈴木和夫, 長嶋駿一郎, 根岸邦雄, 三村義昭
広報	山内六男	松下恭之	児玉利朗, 嶋田 淳, 十河基文, 内藤宗孝
中央選挙管理	高橋康則	糸瀬正通	大原敏正, 覚本嘉美, 田中 悟, 古原英男, 宮下 元

## 日本歯科医師会入会のおすすめ

日本歯科医師会の最重要課題である未入会者対策の一環として、日本歯科医学会では、診療所を開設されている歯科医師で、日本歯科医師会へ未入会の専門分科会会員に対し、同会の個人会員としての入会をお薦めいたします。これは、今後の歯科医学の進歩発達と公衆衛生の普及向上のため、組織の強化が急務であるとの見地から、日本歯科医師会の協力要請に応えるものであります。

日本歯科医師会の会員には、個人会員と準会員があり、個人会員になるためには、郡市区歯科医師会と都道府県歯科医師会の会員であることが原則となっています。このため、同会では諸事情を踏まえ、大学や官公庁などに勤務する歯科医師会の方々を対象として、準会員制度を設け、直接日本歯科医師会に入会できるように配慮しております(入会金; 39,000円, 年会費; 12,500円)。

準会員は個人会員と比較しますと、同会役員等の選挙権・被選挙権はありませんが、個人会員と同様、日本歯科医師会が発行する刊行物の配布を受けること、同会主催の歯科医学会への出席、福祉共済制度(死亡・火災・災害・障害に対する救済制度で800万円を給付)や日歯年金制度(10年保証付きの終身年金)に加入することができます(共済・年金両制度とも加入年齢制限があります)。

お問い合わせ先 日本歯科医師会総務部厚生会員課(〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-1-200 TEL 03-3262-9323)



## 第33回日本口腔インプラント学会総会・学術大会開催報告

大会長 蒔田真人

7月18日(金)～20日(日)の3日間にわたり、第33回日本口腔インプラント学会総会ならびに学術大会が、中部支部主管により、愛知県・名古屋国際会議場で開催されました。本大会はメインテーマを『わが国における口腔インプラントの最先端』とし、現在、国際的に口腔インプラントの研究・臨床をリードされている、わが国の著名な研究者・臨床家を講師としてお招きしました。

学術大会第1日目の特別講演(Ⅰ)では、名古屋大学の上田実教授が「インプラントと再生医療—実用化の進む骨再生」と題し講演し、教育講演2題は新潟再生歯学研究会の榎本紘昭先生が「インプラント修復における機能と審美的調和」、東京歯科大学客員教授の小宮山彌太郎先生が「インプラントにおける即時荷重の最先端」と題し、それぞれインプラントにおける審美と即時加重の最先端のテーマで講演されました。大会第2日目の特別講演(Ⅱ)では、香川県立中央病院歯科口腔外科部長・三次正春先生が「骨延長を利用したRidge Augmentation」と題して講演され、午後のシンポジウム『口腔インプラントにおける骨造成の最先端』では、コーディネーターの九州インプラント研究会の添島義和先生の「開業医ができるマイナーな骨造成」の講演を始め、岡崎恭宏(津島市民病院歯科口腔外科医長)「培養骨を使った歯槽骨増成法」、澤 裕一郎(藤枝市立総合病院歯科口腔外科科長)「病院歯科口腔外科における骨造

成法の現状」、菅井敏郎(東京医科歯科大学歯学部インプラント治療部臨床教授)「インプラント治療の新しい潮流」と、3人のシンポジストによる講演がありました。また、認定医更新用教育講座「インプラント植立後の咀嚼開始時期を求めて」と題して大阪歯科大学・諏訪文彦教授による講演がありました。

一般口演は、スライド形式99演題、本学会初の試みとなるPC形式77演題。加えて、認定医ケースプレゼンテーション46題と合わせて213演題の発表がありました。また、16の臨床系研修施設による招待セッションAと国内インプラントメーカー9社による招待セッションBの2つの招待セッションに加え、歯科技工士と歯科衛生士のための2つのコ・デンタルセッションを設けたところ、事前登録者は900名を越え、当日受付を加えて当初の目標1,200名を大幅に上回る1,750名の参加者となり大盛況でありました。このため、用意した1,500部の抄録集と登録カードが、大会1日目にして足りなくなり、また会場では、満員のため会場に入れられない方も出て、多くの方々にご迷惑おかけすることとなったのは、大きな誤算でした。本大会がこのように盛大に開催できたことは、実行委員会の企画力のみでなく、時代のニーズによることが、参加者の熱心なディスカッションからもうかがわれました。川添堯彬学会長始め、関係各位にあらためてお礼申し上げます。



## 優秀論文賞を受賞して



新井寿欧  
鶴見大学歯学部第二  
歯科保存学教室

この度は優秀論文賞をいただきたいへん光栄に思っています。また、選考していただいた先生方々に感謝申し上げます。

しかしこの研究はまだ完結しておらず、私自身少々戸惑っているのも事実です。そもそもこの研究を始めたきっかけは、歯周病治療を終えてからインプラントを埋入しなければならないと一般にいられていますが、それを証明した論文も見当たらなかったからです。

私は歯周病学講座に在籍しており、日々の臨床において全顎的に重度歯周病の患者さんとも出会いますが、多くの患者さんが部位特異性を呈し、健全な歯と歯周病に罹患した歯が同一口腔内に存在するといった印象をもっています。すでに、インプラントが埋入されている患者さんを拝見することもあります。天然歯が歯周病に罹患しているにもかかわらずインプラントは健全などという場合もあります。また、メンテナンスにおいて天然歯はプロービングデプスや動揺度といった従来の臨床的なパラメーターが有効ですが、インプラント周囲組織の診断にはあまり役立ちません。そこで、口腔内の細菌叢を検索することで現在のインプラントの状態を把握する手掛かりが得られるのではないかと考えました。

現在、分子生物学的フィンガープリンティングによる同一口腔内の伝播の可能性についてさらなるデータが発表できるように研究を続行しています。

今回の研究結果が、皆様の臨床に少しでもお役に立てれば幸いです。

論文名：「メンテナンス期におけるインプラントの細菌学的検索の有用性」(Vol. 15 No. 4, 425～435, 2002年)

## 学会功労賞受賞者紹介

鈴木和夫前日本口腔インプラント学会会長が学会功労賞を受賞されましたので、先生のご略歴等をご紹介します。

### 職歴等

1932年8月10日生まれ  
東京歯科大学卒業  
東京歯科大学解剖学教室助教授  
岩手医科大学歯学部口腔組織学教室教授  
松本歯科大学第二解剖学講座教授  
松本歯科大学名誉教授

### 学会活動

日本口腔インプラント学会理事  
日本口腔インプラント学会会長  
日本学術会議咬合学研究連絡委員会委員

## 名誉会員紹介

権田悦通先生が名誉会員になりましたので、先生のご略歴等をご紹介します。

### 職歴等

1933年9月6日生まれ  
大阪歯科大学卒業  
大阪歯科大学歯科補綴学第一講座教授  
大阪歯科大学附属病院副院長  
大阪歯科大学臨床歯科学研究所所長  
大阪歯科大学副学長  
大阪歯科大学高齢者歯科学講座教授  
大阪歯科大学名誉教授

### 学会活動

日本歯科インプラント学会評議員  
日本口腔インプラント学会常任理事  
日本口腔インプラント学会近畿・北陸支部支部長  
第23回日本口腔インプラント学会学術大会  
大会長

## 法人化へ向けて

法人化ワーキンググループ世話人代表  
副会長 山上哲賢

厚生労働省は、以下の9項目の基準を満たす団体から専門医の認定を受けた医師・歯科医師がいる旨、広告してよいとしています。

1. 学術団体として法人格を有していること。
2. 団体の会員数が1,000人以上であり、かつ、会員の8割以上が医師・歯科医師であること。
3. カリキュラムに基づき5年以上の研修を行っていること。
4. 資格の取得に当たって適正な試験を実施していること。
5. 資格の更新制度を設けていること。
6. 団体の会員及び認定した専門医の名簿が公表されていること。
7. 専門医の資格要件を公表していること。
8. 一定の活動実績を有し、その内容を公表していること。
9. 問い合わせに応じる体制が整備されていること。

本学会は9項目の内、法人格のみ満たしていません。医療広告に関しては、法人格を有することは絶対条件となります。歯科の学会で法人格を有しているのは現在、社団法人日本口腔外科学会、特定非営利活動法人日本歯周病学会の2学会があるだけです。しかし、いくつかの学会でも法人格の取得に向けて活動していると聞いています。本学会も法人格取得を今年度事業計画として掲げていますので、活動を開始しました。まず、総会でも認められました「法人化ワーキンググループ」を立ち上げました。世話人代表を私が担当し、世話人には瀬戸暁一常任理事、石川 烈常任理事、山内六男常任理事、星野清興理事が当たります。

今期中達成を目途に、法人化の具体案を会員の皆様にお伝えしたいと考えております。

## 第34回学術大会案内

近畿・北陸支部支部長 前田芳信

2004年9月25,26日の両日、大阪国際会議場において第34回の学術大会ならびに総会を近畿北

陸支部が主管して開催することになりました。本学会は、川添会長が名実ともにインプラント学会の顔としての学術大会ならびに総会を目指しておられる中でのひとつのターニングポイントを記す学会としたいと考えております。第34回のメインテーマは学術委員会において、「先進展開するインプラント治療—インターディシプリナリー・トリートメント領域への拡大」と決定されました。現在の予定としてはインプラントをインターディシプリナリー治療のひとつのパーツあるいはオプションとして用いておられる先生に教育講演をお願いすることをはじめ内外の著名な臨床家を招いてシンポジウム形式で進めたいと考えております。また、もう一つの課題とされています国際化についても、積極的に近隣の各国からの演者、発表者に参加いただこうと考えております。

学会が会員にとって有意義なものとするのは当然ですが、会員以外の方にも数多く参加して頂けるようにして、本学会の存在意義を示すことができると大それたことを目論んでおります。どうか、皆様の積極的なご参加をお願いいたします。



## 日本歯学系学会連絡協議会設立される

平成15年9月16日(火)日本学術会議講堂において上記協議会の設立総会が約50名の歯学系学会代表者が参加し開催されました。それに加えて平成15年4月25日(金)には、日本歯学系学会連絡協議会設立のための準備総会も開催されています。両会議には、本学会を代表して川添堯彬会長が出席されました。

設立趣意書によれば、本協議会の目的は、加盟

各学会の連携と協力によって運営され、歯学の学術研究に関する諸問題に対して協議し必要な提言を行うとともに、日本学術会議における審議等にも積極的に協力することによって歯学の学術研究の推進と普及を図り、もって国民の健康と福祉の向上に貢献することとされています。本学会もこの設立目的に同意し、入会しました。

当日は、日本学術会議会長 黒川 清教授（東海大学医学部長）、日本歯科医学会会長 齋藤毅教授（日本大学歯学部）のご挨拶に続き、議事審議に移り、会則、役員人事、事業計画、予算（案）などが認められました。

会長には赤川安正教授（広島大学大学院）が、副会長には瀬戸暁一教授（鶴見大学歯学部）、岩久正明教授（新潟大学大学院）が選出されました。なお、役員会は会長、副会長、理事および監事によって構成されています。

平成15年度の事業計画として、1) 日本学術会議、行政機関、産業界及び国民への提言、2) 日本学術会議活動の支援、3) 政策提言研究会等の開催、4) 各学会との連絡・協議等、5) その他目的を達成するために必要な事業、が認められました。この中で、政策提言研究会は瀬戸暁一先生が担当されることになりました。

会長、副会長に本学会でご活躍中の赤川安正先生、瀬戸暁一先生がそれぞれ選ばれたことから、本学会としても、先生方をバックアップするため積極的に活動していくつもりです。

#### 広報委員会からのお知らせ

広報委員会では、会員の皆様から広くご意見、ご要望をお待ちしておりますので、以下の連絡先までお願いいたします。

広報委員会委員長 山内六男

委員：松下恭之、十河基文、内藤宗孝、児玉利朗、嶋田 淳

〒500-8309 岐阜市都通5-15

朝日大学歯科臨床研究所附属歯科診療所

電話 058-253-7272

ファックス 058-254-1424

広報委員会メールアドレス：kohojsoi@yahoo.co.jp

## 認定医ケースプレゼンテーション についてのお知らせ

認定委員会委員長 添島義和

平成15年度初めて行われた認定医ケースプレゼンテーションが46名の先生方により行われました。今回は初めてのこともあり、会場運営等に課題を残しましたが、無事終了することができました。しかし、これまで認定医ケースプレゼンテーションの方法については、研修施設長会議、理事会、応募要項により説明してきましたが、いまだ理解されていない部分がありますので、ご説明いたします。

認定医ケースプレゼンテーションで発表する症例は、特に難しい症例や、高度なテクニックを要する症例である必要はありません。3年経過症例であれば発表できます。ただし、医療面接、診察、診断、前処置、治療の手順、後処置、経過観察に整合性を持たせることが必要です。また、術前口腔内写真、術前X線写真、上部構造体装着後口腔内写真、3年経過後口腔内写真、3年経過後X線写真が最低必要です。

今回症例で問題となったのは、国内未承認生体材料あるいはインプラント適応のないの生体材料の使用です。認定医ケースプレゼンテーションの目的は、「認定医として単独でインプラント治療を行うことの出来る学識と技術を身につけているかどうかを確認すること」にあります。未承認生体材料の使用の問題点は、まず患者様の知る権利、安全性の権利などを阻害することにあります。また、インフォームドコンセント、アカンタビリティが十分に行われていたのかどうかの確認が書面で行われていないこと、倫理委員会の許可を得ていないこと、なども問題となります。演題募集の時に注意したにもかかわらず使用された症例が呈示されました。またこれらの点は、これまでも編集委員会でも投稿される先生にお伝えしてきたことです。認定医ケースプレゼンテーション症例では、絶対に未承認生体材料を使用した症例は避けてください。

一方、認定医申請者がケースプレゼンテーション発表を行う場合、学会事務局へ指定の期日までに所定の演題申し込み書と抄録を提出します。発表は単名で行います。また、ケースプレゼンター

ションを申し込んだ先生は、学会参加費とは別途に発表費用（1万円）を指定の期日までに学会事務局に払い込みます。

ケースプレゼンテーション発表は、ポスター発表形式とし、10分間のプレゼンテーションを受験者が行い、2名の試験委員によって審査します。審査時間は20分以内です。発表での問題点は、ポスターボードの大きさを考慮せずにポスターの大きさが小さく、字も小さく、かなり近づかないと読めないこと、写真、特にレントゲン写真が不鮮明なこと、発表時の声が小さく聞き取りにくいこと、などです。また、ケースプレゼンテーション受付証の紛失、忘れ、発表費用の振込み用紙の未添付、など全く発表者としての自覚のない方もおられました。

来年度も第34回学術大会時（平成16年9月26日（日）予定）に行われますので、これらに注意して、発表してください。

## シンボルマーク・ロゴマーク募集

今回、本学会ではシンボルマーク・ロゴマークを募集することになりました。

応募要項は下記の通ですので、ふるってご応募ください。

- 1) 平成16年5月末日締め切り
- 2) 資格：正会員、名誉会員
- 3) 3色以内（モノクロ印刷が可能な配色）
- 4) A4判の大きさに添付
- 5) デザインの専門家による修正を行うことを条件とする
- 6) 意匠権は学会に所属する
- 7) 審査は日本口腔インプラント学会シンボルマーク審査会において行い、理事会において決定する
- 8) 平成16年度総会において表彰する。
- 9) 日本口腔インプラント学会誌、学術大会プログラム、学術大会ポスター、ニュースレター、学会便箋等に使用する
- 10) 応募先：

〒170-0003 東京都豊島区駒込1-43-9 駒込TSビル301（財）口腔保健協会内 日本口腔インプラント学会事務局内シンボルマーク・ロゴマーク係

## お知らせ

Implant Newsでは、研修施設の講習会案内、賛助会員による講習会の案内、同窓会主催の講習会案内、などを有料にて掲載いたします。

ご希望の方は、学会事務局までお問い合わせください。

## 新入会者紹介

平成15年4月1日から8月31日までに以下の先生方が新しく入会されましたので、ご紹介致します。

雨宮 花, 案西浩平, IKEDA IRENE, 池田賢二,  
池田憲彦, 石田政人, 石丸 毅, 石山智香子,  
今井裕一郎, 上野泰宏, 遠藤伸一, 大江健史,  
大儀和彦, 太田 学, 木津喜健, 小坂橋誠,  
小松啓之, 佐牟田 毅, 清水寿哉, 杉江 弘,  
須崎智勝, 鈴木孝志, 高木純一郎, 高安勇輝,  
武田志保美, 谷口昭博, 谷山智秀, 寺島伸佳,  
徳丸啓二, 中村陽介, 奈良間祐一, 西川洋次,  
西原 功, 樋口真弘, 町田 健, 松浦宏彰,  
松本泰典, 村松正規, 森 進太郎, 森 忠光,  
森越直樹, 森元孝之, 山内真紀子, 山崎行庸,  
山田全一, 若林一道, 和田 昭, 市川光大,  
清水宣貴, 橋本弘幸, 町野 敦, 影山幾男,  
松本大輔, 石川 均, 石橋弘子, 片平 徹,  
鈴木浩太, 吉田和史, 井上富雄, 竹中 寛,  
松家茂樹, 石井英之, 岡 秀一郎, 久保雅晴,  
五島衣子, 佐藤浩司, 高見澤 勇, 西村哲雄,  
長谷川浩之, 吉村 節, 岩渕 啓, 柴野義弘,  
本田康生, 真辺剛史, 有吉 聡, 岩永和大,  
中井康夫, 小林秀樹, 中島康雄, 中村 哲,  
榎戸 崇, 北村昌弘, 高橋健太, 岩崎圭祐,  
向山和孝, 好井健一, 井上正敏, 黒岩昭弘,  
前川眞司, 河野 臨, 岩切博宣, 榊 敏男,  
富田郁雄, 檜本浩子, 宮口達司, 遠藤富夫,  
白石晃一郎, 代田達夫, 須山 勉, 宮澤軌哉,

市川 大, 竹中 博, 吉岡 文, 鎌田 靖, 小田知生, 小林真理子, 渋谷 徹, 社本貴久雄,  
 千ヶ崎乙文, 服部正巳, 山田陽一, 横田正隆, 高橋美貴, 高山謙一, 土肥博幸, 長谷川浩之,  
 石黒弘明, 一之瀬邦彦, 加藤佐敏, 篠田智生, 原田洋介, 日比弓紀子, 前多雅仁, 溝上宗久,  
 田村友彦, 大山哲生, 瀧本博至, 田口達夫, 安武 聡, 大森みさき, 寺本千賀子, 由良公二,  
 益田賢治, 森 修一, 安部圭太郎, 丸藤雅義, 有田英紀, 浦本洋一, 川瀬 敬, 佐藤祐美,  
 熊澤友子, 滝本 明, 溝口孝之, 堀口尚司, 鈴木恭典, 武田朋子, 玉木大之, 内藤康雄,  
 峯 篤史, 金子和敬, 瓦本恒久, 小杉 斉, 目黒憲治, 竹下伸彦, 松田純子, 大塚由朗,  
 高橋 誠, 川 陽基, 松尾勝弘, 松倉晴明, 北谷典子, 駒澤 誉, 高橋宏雄, 大野 憲,  
 池山尚岐, 鈴木雅之, 梶 泰子, 壁村健一, 川村 寛, 九津見紳一朗, 寺尾 豊, 寺本昌司,  
 辛嶋 哲, 古場哲郎, 川嶋利男, 関 光輝, 野口史明, 柳谷博章, 加藤秀昭, 金石あずさ,  
 脇本昌廣, 岩崎多恵, 内山佳之, 小野世範, 菊地里江, 栗原規剛, 橋場瑠美, 原 由利子,  
 酒匂 潤, 田澤寛康, 西 貞利, 増田陸雄, 春田英政, 古市英史, 上野泰之, 太田厚美,  
 焼田志凶夫, 山本高敬, 内堀健二, 坂口勝啓, 荻原信夫, 畑中一嘉, 浜島 進, 三矢晶吾,  
 佐一生芳久, 高田敬万, 中埜秀史, 松本健太郎, 松木直人, 安陪 晋, 須田善行, 須藤史成,  
 奥居憲太郎, 鈴木和夫, 寺田利久, 早野圭吾, 林 保利, 山田尚子, 太田裕明, 片野昇平,  
 吉野敏明, 木本克彦, 小暮達雄, 村松永芳, 荘村泰治, 針谷宜宗, 海野幸利, 桐田忠昭,  
 風間 慶, 鈴木規子, 武田邦太郎, 濱田 卓, 小林茂樹, 田村浩伸, 詫間隆弘, 前田拓哉,  
 内海正剛, 重本修伺, 竹下憲治, 野平政哉, 宮本光仁, 岩山幸雄, 九鬼裕之, 小室聖子,  
 伊藤香絵, 加藤大樹, 坂田吉子, 穂積洋史, 高橋誠治, 野原栄二, 福田光太郎, 藤波 淳,  
 中澤敏明, 西川和章, 勝田剛司, 服部寛之, 松木なみ子, 三澤知裕, 水口隆之, 赤堀仁則,  
 松江彦兆, 武藤直広, 河野 敬, 芳賀景嗣, 荒牧 音, 伊藤 実, 岡崎定司, 小川比佐誌,  
 石森 明, 高松新司, 松本紀幸, 児玉 崇, 長田美香, 清野 豊, 小林珠貴, 清水雄二,  
 高田明昇, 品川浩介, 濱田 哲, 本淨 学, 杉藤喜代子, 鈴木崇仁, 林 和彦, 田尻下佳子,  
 伊東博美, 佐藤徳芳, 品川拓人, 鶴身暁子, 土井一矢, 豊嶋健史, 長谷川雄一, 藤野佳代子,  
 長沼聖人, 野中美江, 松島恭彦, 諸 智子, 水野真木, 山田哲也, 和田正高, 青木孝幸,  
 志賀有里子, 高橋宏征, 塚田真二郎, 田中健一, 辺 量子, 新保秀仁, 前田勝正, 鈴木 聡,  
 大嶋孝夫, 児玉秀介, 高田光彦, 辻 浩洋, 丸山陽市, 木下基司, 真角和子, 林 喜平,  
 山本英貴, 青島公彦, 有馬太郎, 築山鉄平, 東竜太郎, 中野愛子, 永原昭夫, 藤原夏樹,  
 山本朋章, 神林秀昭, 田嶋 真, 西條英人, 石山昌裕, 小島博司, 杉分裕史, 西島典幸,  
 米本久史, 泉 喜和子, 斉宮康寛, 砂原優一, 山田義道, 藤井 彰, 前澤周文, 河野文昭,  
 船木勝介, 渡邊克則, 上村 守, 田畑勝彦, 北園幸紀, 監物 真, 岡本俊宏, 作山 葵,  
 中川健司, 中川雅晴, 大石泰孝, 堺 健太郎, 永野正司, 中村昭二, 松久保 隆, 松村英雄,  
 藤 貴, 高梨琢也, 永山 幸, 宮下 顕, 松瀬 彰, 宮本正彰, 高瀬昌弘, 寺門都愛,  
 山崎浩史, 天野祐治, 石橋利文, 岡田崇之, 宮下聡胤, 桑島精一, 佐藤 拓, 須磨良行,  
 木村知克, 静間祐一郎, 山本浩司, 住友孝史, 永井宏和, 中田 憲, 佐藤泰生, 中谷地徹,  
 田中英明, 椿 和佳, 中臺麻美, 長谷川 賢, 加藤勝弥, 岡田英治, 辻 博之, 多田充裕,  
 久田邦博, 山之内文彦, 吉田 真, 梅田佳子, 笹原廣重, 清水真一郎, 小川秀仁, 東 将悦,  
 大畑仁志, 小川清香, 中村俊雄, 西浦宏宰, 小林大輔, 山中寛貴, 荒 博範, 林 幸央,  
 本田剛史, 渡邊 賢, 斉藤彰久, 坂下顕照, 植松裕雅, 大城雄史, 国府田英敏,  
 阿部恵一, 高橋香苗, 丹野 努, 山内健介,

(以上 415 名)

## 第 34 回日本口腔インプラント学会 総会・学術大会案内（予報）

会 期：平成 16 年 9 月 25 日（土），26 日（日）  
9 月 24 日（金）：理事会，評議員会，研修施設長会議  
会 場：大阪国際会議場（グランキューブ）  
メインテーマ：「先進展開するインプラント治療  
ーインターディシプリナリー・トリートメント領域への拡大」  
大会長：前田芳信 準備委員長：十河基文（E-mail：sogo@dent.osaka-u.ac.jp）  
連絡先：〒 565-0871 大阪府吹田市山田丘 1-8  
大阪大学歯学部附属病院口腔総合診療部  
電話：06-6879-2386，FAX：06-6879-2387  
認定医更新用教育講座：平成 16 年 9 月 24 日（金）17：00～18：30（予定）  
認定医申請用教育講座：平成 16 年 9 月 26 日（日）9：00～16：00（予定）  
認定医ケースプレゼンテーション：平成 16 年 9 月 26 日（日）9：00～12：00（予定）

## 平成 15 年度日本口腔インプラント学会 九州支部総会・学術大会案内

会 期：平成 16 年 2 月 21 日（土），22 日（日）  
会 場：B-Con Plaza（大分市）  
大会長：近藤俊彦 実行委員長：阿部成善  
連絡先：〒 870-0035 大分市中央町 1-3-24  
あべ歯科インプラントクリニック（阿部成善）  
電話：097-532-8451  
特別講演：平成 16 年 2 月 22 日（日）9：10～12：10  
「Implants-permanent retention-elements for different indications. 30 years clinical  
experience」G. Klekler  
（フライブルグ大学歯周外科教室）  
認定医更新用教育講座：平成 16 年 2 月 21 日（土）15：00～16：00  
「インプラントのエヴィデンス 2003」井上 孝  
（東京歯科大学臨床検査学講座）

## 目 次

本学会は変革進化を果たします .....	1
副会長ご挨拶 .....	2
各種委員会紹介 .....	3-6
役員紹介 .....	7
日本口腔インプラント学会各種委員会名簿 .....	8
第33回日本口腔インプラント学会総会・学術大会開催報告 .....	9
優秀論文賞を受賞して .....	10
学会功労賞受賞者紹介 .....	10
名誉会員紹介 .....	10
法人化へ向けて .....	11
第34回学術大会案内 .....	11
日本歯学系学会連絡協議会設立される .....	11-12
認定医ケースプレゼンテーションについてのお知らせ .....	12-13
シンボルマーク・ロゴマーク募集 .....	13
新入会者紹介 .....	13-14
第34回日本口腔インプラント学会総会・学術大会案内(予報) .....	15
平成15年度日本口腔インプラント学会九州支部総会・学術大会案内 .....	15
広報委員会からのお知らせ .....	12
お知らせ .....	13
日本歯科医師会入会のおすすめ .....	8
目次 .....	16
広告 .....	16



### JAPANESE ITI SYMPOSIUM 2004 TOKYO | JAPAN | JUNE 5-6 | 2004

#### ■メインテーマ

#### インプラント治療におけるニューフロンティア

#### ■講師

Prof.Dr.Urs Belser / Prof.Dr.Daniel Buser  
 Prof.Dr.H.F.Christoph Hammerle / Prof.Dr.David Lee Cochran  
 Prof.Dr.Dieter Weingart / Prof.Dr.Jan Lindhe  
 Mr.Alwin Schonenberger

#### ■会期・会場

2004年6月5日(土)6日(日) 東京国際フォーラム

#### ■参加費 一般 ¥43,000 (税込)

- 一般 [早期割引] ¥38,000 (税込)
- G&I会員 [早期割引] ¥37,000 (税込)
- IRM会員 [早期割引] ¥36,000 (税込)

※早期割引は2003年12月末までとさせていただきます。

#### ●お申し込み・お問合せ先



### 大信貿易株式会社

DAISHIN 本社 / 〒592-8345 大阪府堺市浜寺昭和町5-565-1

東京 (03)3292-3141 橋 木 (028)638-4844 名古屋 (052)723-5477  
 東北仙台 (022)221-4009 東京テンプル (03)3982-9441 奈良 (0744)23-5594  
 千葉 (047)483-3005 新潟 (025)522-4066 大阪南 (072)264-8089  
 横浜 (045)316-4801 大阪 (072)267-6901 広島 (082)280-2049  
 埼玉 (03)3292-3151 神戸 (072)267-6901 九州 (092)589-4933  
 浦和 (048)863-5081 京都 (072)267-6901 福岡 (092)589-4933

<http://www.daishintrading.co.jp>

Happy Smiles & Heartful Communication



歯科・頭頸部用X線CT



## 夢の3次元画像を実現

歯科・頭頸部用小照射野X線CT装置  
**3DX MULTI-IMAGE MICRO CT**  
 スリーディーエックス マルチイメージ マイクロCT

- 1回の撮影で、高精細の3次元画像が得られます。
- 3次元画像は、3DXソフトにより、任意の3方向断面の観察ができます。
- パノラマ撮影とほぼ同等の撮影時間・照射線量で、高分解能の3次元情報が得られます。
- インプラント、根尖病巣、顎関節、埋伏歯などの診断、精査に最適です。

日本大学歯学部・株式会社モリタ製作所 共同開発

■標準価格 25,200,000円  
 ■医療用具承認番号 21200BZZ00757000

※標準価格は2003年8月21日現在のものです。

標準価格には消費税等は含まれておりません。

品質マネジメントシステム 環境マネジメントシステム



ISO9001 認証 JQA-0933 ISO14001 認証 JQA-EM0543

製造 株式会社モリタ製作所

株式会社モリタ 株式会社モリタ製作所 株式会社モリタ東京製作所